



氷室山～熊鷹山山行報告

【山行日】2018年3月31(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 600円

【メンバー】CL:鈴木、石川、岩淵、大西、
梶内、小松原、島田、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝熊穴橋
P7:05/7:20～白ハゲ口広場 7:50～三滝上渡渉
点 8:10/8:20～宝生山分岐 9:10～林道峠

10:10/10:20～氷室山 10:40～宝生山 10:55～林道峠 11:10～十二山 11:45/12:20～

熊鷹山 12:50/13:00～白ハゲ口広場 14:05～熊穴橋 P14:25/14:35＝岩舟支所 P1550

三滝から大戸川を詰めて、不明瞭な踏み跡をたどり氷室山に登るリクエストがあり計画した。2年前に林道作原・沢入線が開通し、登山道が寸断されより分かりにくいコースとなった。

佐野市街から県道作原・上町線を北上し、途中蓬山ログビレッジでトイレを済ませ熊穴橋駐車場に着く。準備を整えストレッチを済ませて出発する。駐車場から反対側の荒れた林道を大戸川沿いに登って行くと、林道終点の白ハゲ口広場に着く。広場には東屋があり、小休止して衣服調整をする。ここからは三滝めぐりの遊歩道を行くが、大戸川の右岸に付けられた岩の細い道をへ攀って行く。白ハゲ沢を渡るとルートは二つに分かれ、一般向きの山コースと健脚向きの川コース



に分かれる。今回は三滝に寄らずに行くので、左に一般向きの山コースを進む。広葉樹林帯の中の尾根に付けられた道をジグザグに登って行く。尾根沿いに登り切り、峠を少し下ると三滝への分岐となりここは直進して氷室山へ向かう。ここからは熟達者向けの沢沿いのコースとなり、ルートフ



ァインディングが出来ない人は入ってはいけないルートだ。すぐに十二山への分岐があるが、ここは直進し一旦沢に降り丸木橋で左岸へ渡る。沢を渡った所で小休止し、リンゴや菓子を食べてエネルギーを補給する。ここからは落ち葉に埋もれたかすかな踏み跡を頼りに、地図で確認しながら沢を遡行して進む。自然林の気持が良い沢だが、道なき道を遡行するコースに皆不安そうな顔をしていた。支沢を二つ越えた先に古い標識があり右が氷室山だが、

ここは左に宝生山に向かって急な尾根道を登って行く。過去の山行記録を見ると、右の氷室山へのルートは林道作原・沢入線で分断され林道が越えられないようだった。尾根をはずさずに登ると林

道に出て、右にコンクリート上を下ると林道に降りられる。ここから左に林道を歩き、15分くらいで林道の峠に出た。峠からは袈裟丸山から皇海山、日光白根山などの眺望が素晴らしく休憩して景色を楽しむ。ここから宝生山に向かって尾根を進み、宝生山の先を左に進むと間もなく氷室山手前の神社跡に着く。山頂はこの少し先になり、神社の裏から登ってすぐ北のピークに氷室山の小さな標識がある。記念写真を撮ったら来た道をもどり、帰りは宝生山の山頂を登って峠に戻る。ここからは尾根を巻くように付けられた登山道を、緩やかにアップダウンしながら歩くととても気持ちが良いコースだ。皆さんもきちんとした登山道を歩き、不安が消えておしゃべりが賑やかになった。十二山手前の平らな場所でランチタイムとなり、倒木に腰かけて味噌ラーメンを作る。野菜たっぷりの味噌ラーメンに、筍の煮つけや出汁巻き卵等が並び賑やかにランチをいただいた。ここから少し登ると根本山への分岐になり、我々は左に熊鷹山へ向かう。



自然林の尾根を南に向かって進み、右側に根本山を見ながら「今度は根本山に登りたいね」と話ながら熊鷹山山頂に着く。山頂には展望櫓があり、櫓に登って360度の大自然を楽しんだ。

展望を楽しんだら下山する。下山は熊鷹山頂から南東へ延びる尾根を下り、途中の小ピークから北東に大きく戻るように進むと間もなく西沢口への分岐に出る。西沢口への道を右に分け、そのまま北東へ延びる尾根をはずさず進むと白ハゲ口広場に出る。広場からは往路の林道を20分程下り、熊

穴橋の駐車場に着く。靴を履き替えて帰路につき、途中蓬山ログビレッジに寄りトイレを済ませ岩舟支所に予定より早く帰着出来た。

